

## 創立十周年記念祝賀会の報告

平成二十年十月十八日(土)午前十時より、近江八幡市ひまわり館大ホールにて、会員四十九名と来賓の参加で歴史回廊倶楽部創立十周年記念祝賀会がおこなわれた。

成安造形大学学長 木村至広先生の記念講話「近江歴史回廊構想と近江歴史文化財の特徴」が、まずおこなわれ、次に会長挨拶、来賓祝辞があり、その後昼食をかねての祝賀小宴となった。

木村先生のお話は、歴史回廊大学の構想が考え始められたごく初期の頃から、大学が開校し現在の十一期に至る多くの思い出などに始まり、近江の豊富な歴史文化遺産をよく知って誇りを持ち、それらを活用して街づくりに生かせる人々が育ってほしいというものであった。また、近江の文化の特質、歴史の重層性など具体例を挙げながら詳しく話され、自然環境、特にびわ湖やその気象、山川草木などがこれらの歴史の生成に強く影響を与えているのでそれらについても学んで欲しいと言われた。

歴史回廊倶楽部についても活発な活動をよく十年も続けられたと具体的な例を挙げて賞賛していただき、これからの活動のヒントもいくつか示されて激励していただいた。

会長はこれからの十年を考え、会員それぞれが主体的に活動できるような体制を作りたいなどと話された。

来賓の県民文化課課長・門脇宏氏からは思い出話と共にお祝いの言葉をいただき、文化振興事業団理事長・岸野洋氏からは祝辞をいただき読み上げられた。

テーブルを並べ、小宴となった。会長から差し入れのご家族手作りの赤飯や、アルコールも出、口が滑らかになったところで各テーブルにマイクが廻り、部会の報告や、ボランティアガイドの話、各人のこれから倶楽部でしたいこと(女性会員が増えるような企画・県外ツアー・山城巡り・地域の成り立ちを知る・地域の民俗を知る・神道について知りたい・信長の足跡を調べる・天然記念物巡りなど)全員が想いを話し、各テーブルでもそれぞれに話に花が咲き、にぎやかでなごやかな交流の場となった。

これまでの十年を礎にこれからの十年をより実りあるものとなるよう、皆で倶楽部の発展を願いつつ、記念祝賀会を閉じた。  
(編集部会 中田)